

令和元年度南区地域自立支援協議会 総括

南区地域自立支援協議会は、平成 22 年 5 月の代表者会議で設置されてから、9 年 10 ヶ月が過ぎた。平成 23 年度の専門部会の活動内容から大幅に活動を縮小し、事務局活動に重点を置く形で活動を開始して約 8 年が経過している。

「南区に生活する障害児者が、本人の特性やライフステージに応じ、充実した地域生活が送れるように、地域として支援していく」という目標（理念）の元、
事務局活動としては、南区グループホーム連絡会、放課後等デイサービス連絡会の運営、医療的ケア対応施設連絡会の運営を行った。また、本年度から「地域生活支援会議」という名称で高齢者支援分野との会議体を設置し、支援に際して地域で起きている課題について意見交換をする場を得ている。

専門部会での活動は、精神障害者専門部会と相談支援専門部会という二つの専門部会のみとし、それぞれ年度内に 5 から 6 回の部会を開催している。具体的には別項で報告するが、過去に行ってきた個別支援会議開催支援ではなく相談部会として事例検討等を重ねていく事で、区内の相談支援体制の充実に向けた取り組みが具体化し、合わせて個別の支援の積み重ねから地域における課題の抽出を行い専門部会で検討していくという地域自立支援協議会本来の機能を発揮できるようになることをめざしている。

また、南区自立支援協議会のその他の活動としては「スキルアップ研修」を例年通り実施し、支援機関同士の顔が見える関係づくりと互いの支援を知る機会としている。また、「南区卒業生進路懇談会」においては、例年通り卒業生をイメージできるような工夫を行い、懇談会の場でより具体的な話し合いが行われるようにしている。「公開講座」は昨年を引き続き、「障害」についての理解を深めるために、南公会堂にて地域住民に向けた映画会・講演会を企画し、南区障がい児者団体連絡会の作品展との同時開催を実施した。

以上が、今年度の南区地域自立支援協議会の活動の概略である。

この協議会が機能するためには、障害者への相談支援と個別支援会議の充実が不可欠である。そのため、来年度も「障害のある方」への支援課題を中心において、地域自立支援協議会としてできることを真剣に取り組んでいきたい。